

演題キーワードには必ず

「就労支援」

を記載してください。

一般演題「就労支援」募集

Let's try something new.

作業療法士が考える 就労支援って…？

「就労支援」は企業に就職・復職することだけじゃない。病院の中で準備性を高めることも、子どもたちの職業性を刺激することも、高齢者が語る自身のキャリアに耳を傾けることも、どれを取っても「就労支援」に欠かせない大切なアプローチだ。

Our vision

大阪府作業療法士会では、3年前に就労支援委員会を発足させました。研修会や対外事業を通して、「大阪の作業療法士は全員が就労支援を語る」という目標を掲げ、就労支援が限定された特別な領域でなされるアプローチはなく、全ての領域の作業療法と接続していることや、作業療法の歴史的基盤となっている事を伝えてきました。

その成果として第37回大阪府作業療法学会にて、一般演題「就労支援セッション」を企画しました。

成人から壮年期における就労支援だけでなく、子どもからお年寄りまで全ての世代に関わる作業療法士だからこそ、幅広く根源的な就労支援について議論することが可能となります。

この考え方を理解し、本学会のメインテーマでもある「ユニバーサルなまちへ向かって」を実現するために、皆さんから多くの演題が届くことをお待ちしております。

大阪府作業療法士会
就労支援委員会

こんな演題を大募集しています!!

子ども

子どもたちが語る将来の夢に、OTとして感銘を受けた経験は誰でもあるのではないのでしょうか？

子どもの夢には大きな力があり、その思いがやがて、職業性や対人スキルを育てていくことになります。就労支援の始まりでもある子どもたちとの経験を発表して下さい。

成人

仕事も家庭も大事にしてきた最中、長期の入院を強いられる方のOTを経験した事は多いのではないのでしょうか。思ったように復職が上手くいかず、思い悩む方も少なくありません。本人の願いや家族の想いを引き継ぐ事の難しさなどを発表して下さい。

高齢者

家族の為に働いてきたあの時の栄光を、誰にも認められないままベッド上で過ごす方が、OTの時だけ見せる最高の表情と語り。今までの生き方そのものに焦点をあてるOTだからこそ、忘れかけていた自尊心を引き出す事が出来る。若かりし頃の仕事や価値観が、年老いてなお輝きを増している事例について発表して下さい。

当日は、どんなセッションになるの？

- 60分の演題発表と座長によるファシリテーション**
なぜ、子どもから高齢者の“働く”を集めたセッションを企画したのか…。60分の演題発表と座長のファシリテーションでそれを伝えます。
- 作業療法と就労支援の関係性が理解できる**
病院や施設の中で、いつも行なっている作業療法こそが「就労支援」であり、様々な分野を横断的にカバーする作業療法だからこそその「就労支援」だったんだと気づいて下さい。
- 就労支援の基礎から応用、根底にある考え方に触れる**
「就労支援」のプロセスを学べる様々な事例が報告されます。発表だけでなく、会場が一体となった質疑応答の中からも沢山のヒントやエッセンスを導きます。